

平成27年度

保健福祉学部附属診療センター

年報

目次

I. 年度目標と実績

II. 診療実績

III. 教育実績

IV. 研究業績

V. 従事者名簿

I. 年度目標と実績

目標

- ①医療機関としての安全管理体制整備
 - ★医療安全対策の継続実施・報告体制の整備
 - ★今後の備品整備の検討
- ②教育および研究のための体制の充実
 - ★専門診療の充実とその成果を学内外に発信(年報の公開)
- ③地域連携システム中の専門機能の充実と成果の発信
 - ★ホームページの充実
 - ★学外者の研修制度の整備(海外からの留学生についても検討)

実績

- ①医療機関としての安全管理体制整備
 - ◆附属診療センター事故処理要領の改訂
 - ◆安全対策のための環境整備(収納棚の設置・用具の整理)
 - ◆医療安全研修会の実施(7月29日・12月9日)

- ②教育および研究のための体制の充実
 - ◆実績 初診患者172名 再診患者4651名 リハビリテーション2916件
学内実習113名 学内者見学425名 海外留学生研修3名
 - ◆年報の公開
 - ◆20周年診療従事者アンケートの実施

- ③地域連携システム中の専門機能の充実
 - ◆講演会・メディアでの情報発信
読売新聞『わが自慢』で紹介
教員免許状講習 シティカレッジ 公開講座等
 - ◆オープンキャンパスでの情報発信(見学者約498名)
 - ◆学外者の研修の受け入れ
学外者見学94名(うち専門職種研修者5名)

来年度計画

- ①医療安全対策の継続実施
 - ★医療安全のための定期点検・安全対策の周知
- ②今後の役割と施設機能の方向性の検討
 - ★診療体制の検討
 - ★備品の計画的な更新
 - ★附属診療センターの存在意義を学内外に発信

Ⅱ. 診療実績

①地域別

地域	初診	再診	実人数	のべ人数
三原市	80	369	451	2530
尾道市	36	138	174	811
福山市	27	137	161	519
広島市	8	14	22	132
東広島市	3	6	9	28
府中市	3	15	18	35
三次市	1	1	2	4
安芸高田市	1	0	1	1
呉市	0	2	2	3
神石郡	0	6	6	10
世羅郡	2	21	23	107
竹原市	4	21	26	180
豊田郡	0	4	4	9
沼隈郡	0	1	1	1
安芸郡	0	4	4	26
庄原市	0	2	2	13
岡山	1	4	5	10
山口県	5	2	7	27
四国	0	0	0	0
大阪	0	1	1	5
北九州	0	1	1	1
合計	171	749	920	4452

②年齢別

年齢	初診	実人数
3歳未満	6	8
3歳	8	11
4歳	13	18
5歳	23	46
6歳	34	81
小1	7	61
小2	5	50
小3	9	57
小4	12	55
小5	2	51
小6	6	63
中1	3	46
中2	1	36
中3	2	36
高校生	2	66
19歳～20歳	1	36
21歳～30歳	10	43
31歳～40歳	4	14
41歳～50歳	7	27
51歳～60歳	6	26
60歳以上	10	89
合計	171	920

③初診患者の主診断名

診断名	人数
自閉症スペクトラム	56
知的障害・学習障害	24
注意欠陥多動障害	37
その他の小児神経疾患	4
発声・嚥下・構音障害	23
難聴	7
その他の耳鼻科疾患	5
高次脳機能障害・認知症・脳血管疾患	7
発作性神経疾患	2
脊髄・神経・筋疾患	1
精神科疾患	5
整形外科疾患	1

Ⅲ. 教育実績

【授業・見学】

科目名	学年	人数	期間	回数	内容
理学療法概論Ⅱ	1	31	12月	1	1年次生を対象とし、理学療法士だけでなく作業療法士、言語聴覚士、診療放射線技師といった多職種の業務や実際の治療について見学・説明を行い、理解を深めた。
クリニカルリーズニング	4	28	4月	1	作業療法士のリーズニングを考える際の教材として、診療センターのクライアントの面接場面をビデオ撮影し、映像を授業で活用した。
チーム医療福祉演習	4	188	10月	1	診療センターを利用している患者や家族が、ヘルスケアサービス利用者の視点から、学生のグループワークに参加した。
遂行分析学	3	30	4～6月	4	対象者が、掃除機をかけたり、洗濯ものをたたむといった作業している場面をビデオ撮影し、作業遂行分析の授業で活用した
日常生活援助論	3	29	5～7月	2	対象者が作業している場面をビデオ撮影し、より効果的に作業できるための支援方法を検討する授業で活用した
聴覚系障害学概論Ⅰ	2	28	11月	1	聴覚障害のある患者さんに参加いただいて学生との交流会を行い、学生が聴覚障害について理解を深める機会とした。
認知系障害学概論Ⅰ	2	30	4～7月	4	失語症のある患者さんと言語聴覚士のコミュニケーション場面をビデオ撮影し、映像を授業で活用した。
高次脳機能障害学特論Ⅱ	3	1	9～11月	2	失語症のある患者さんと言語聴覚士のコミュニケーション場面をビデオ撮影し、映像を授業で活用した。
失語症特論	4	2	9～11月	2	失語症のある患者さんと言語聴覚士のコミュニケーション場面をビデオ撮影し、映像を授業で活用した。
認知系障害学概論Ⅱ	3	29	4～7月	1	失語症のある患者さんと言語聴覚士のコミュニケーション場面をビデオ撮影し、映像を授業で活用した。
社会福祉実習指導Ⅱ	2	7	2～3月	5	神経内科の診察に同席して、患者の症状やニーズ、医療の対応について学習した。
社会福祉実習指導Ⅲ	3	3	7～3月	3	ソーシャルワーク面接に同席して、患者、家族が抱える思いや社会生活上の困難、面接の進め方について学習した。
医療ソーシャルワーク	3	6	11月	1	難病に対するソーシャルワークを学ぶ過程で、神経難病患者のお話を聞き、生活上の困難や社会福祉に望むこと等を学習した。

【実習】

科目名	学年	人数	期間	回数	内容
総合臨床実習Ⅱ 補充実習	4	1	7～8月	3	総合臨床実習Ⅱの補充実習を1名の学生に対して行った。学生は2症例担当し、カルテからの情報収集、評価を行い治療計画を立案した。
発達障害治療学実習	3	29	4～3月	各グループ 10	発達障害をもつ患者14名の協力を得て、学生に作業療法場面の見学、補助を行わせた。学生2～3名が患者1名を担当し、1組当たり年間10回の実習を行い、作業療法のプロセスを学習した。
精神障害治療学実習	3	30	12～2月	12	担当作業療法士の指導のもとに学生数名が患者を担当し、面接と観察の実習を行った。なお、患者と保護者の授業への協力の同意は事前に得た。
臨床実習Ⅰ	2	30	4～3月	30	言語聴覚障害をもつ患者の協力を得て、学生に言語聴覚療法場面の見学を行わせた。学生2名～3名が1組となり、1組当たり年間3回異なる患者を見学し、言語聴覚療法のプロセスを学んだ。
臨床実習Ⅱ	3	30	4～3月	104	言語聴覚障害をもつ患者の協力を得て、学生1人につき年間8回の評価、計画立案、言語聴覚療法実施、報告書作成を行った。
臨床実習Ⅲ	4	30	4～3月	50	言語聴覚療法に関係のある小児科、耳鼻科、神経内科の診療見学を医師の協力のもとに実施。一人につき3診療科1回の見学を実施。

【卒業研究】

卒業論文タイトル
先天性左前腕欠損児に対する自助具の提供とその効果検証
リラックスさせる音楽と不安を感じさせる音楽の自律神経機能に及ぼす影響
子どものスマートフォン・タブレット端末の使用実態調査
発達障害児を持つ保護者の発達支援医療に対する意識～アンケートから～
発達障害児を持つ保護者の発達支援医療に対する意識～インタビューから～
失語症のコミュニケーションブックアプリ活用に向けた基礎的研究
失語症者へのLINEの導入とその効果
(修士論文) 幼児期における自閉症スペクトラム児の有能感に関する研究 —心の理論の発達と自己認知の正確さとの関連—
嚥下内視鏡検査が嚥下動態に与える影響について
フォトセンサーによる耳管開大検知システムの開発と有用性について
反復唾液嚥下での嚥下間隔について—耳内嚥下音による解析—

IV. 研究業績

【論文】

論文名	雑誌名	著者名	発表年月日
Comparison of urinary levels of 8-hydroxy-2'-deoxyguanosine between young females with and without depressive symptoms during different menstrual phases.	Acta Medica Okayama	Iida T, Inoue K, Ito Y, Ishikawa H, Kagiono M, Teradaira R, Chikamura C, Harada T, Ezoe S, Yatsuya H	2015年2月
発達障害がある人々のライフステージに寄り添った作業療法支援を考える	作業療法ジャーナル 第49巻(11),PP 1083-1089	土田 玲子	2015年2月
ハイレゾリューション・オルゴール音による自律神経機能への影響.	診療と新薬	原田俊英, 山本竜太, 伊藤祥史, 二矢田勝行, 石崎文子, 宮崎洋行, 近村千穂, 末廣憲治	2015年3月
ハイレゾリューション・オルゴール音の脳機能への影響.	診療と新薬	宮口真梨菜, 原田俊英, 石崎文子, 近村千穂, 児玉祐子, 伊藤祥史, 二矢田勝行, 山本竜太, 城本修, 今泉 敏	2015年3月
ハイレゾリューション・オルゴール音による末梢血管系への影響.	診療と新薬	森脇愉子, 原田俊英, 石崎文子, 二矢田勝行, 山本竜太, 伊藤祥史, 近村千穂, 青井聡美, 池田ひろみ, 飯田忠行, 安武繁	2015年3月
チューブ発声法による声帯振動への影響	音声言語医学	南和彦, 土師知行, 丸山萩乃	2015年4月
Low-Frequency, Whole Body Vibration Induced Neurite Outgrowth by Pc12m3 Cells with Impaired Nerve Growth Factor-Induced Neurite Outgrowth	Journal of Novel Physiotherapies	Yoshihisa Koike ¹ , Reiko Tutida, Yuko Hayashi, Yoko Yamanishi, Yoshio Kano	2015年5月
摂食嚥下機能の“生涯発達”と言語聴覚士のリハビリテーション	第26回食品ハイドロコロイドシンポジウムテキスト	矢守麻奈	2015年5月
急性期病院における摂食嚥下リハビリテーションと栄養管理の効果	日本医療マネジメント学会雑誌	東山寛隆, 矢守麻奈, 土本正治	2015年6月

特異な呼吸様式を伴う機能性発声障害の一例に対する音声治療の経験	言語聴覚研究	芦野直子, 矢守麻奈, 牧山清	2015年9月
摂食嚥下機能に関する補装具および人工的水分・栄養補給法の認識と受容	言語聴覚研究	伊志嶺文, 矢守麻奈	2015年9月
広島湾北部地域で育成されたカキの栄養成分と養殖環境.	広島県獣医学会雑誌	新田由美子, 福泉拓, 古矢健一郎, 島津哲也, 綱岡一師, 綱崎宗雄, 原田俊英, 石崎文子	2015年10月
特別支援学校における教員と作業療法士の協働-色塗りが上手になった事例を通して-	日本特殊教育学研究	古山千佳子, 落合俊郎	2015年10月
肥満傾向にある学童期の発達障がい児への看護介入プログラムの効果 -肥満度、生活習慣の認識・行動の変化-	人間と科学 県立広島大学保健福祉学部誌 16(1)	鴨下加代、土路生明美、林優子	2016年3月

【著書】

タイトル	著者名	担当範囲	出版社	出版年月日
失語症学第2版 第8章失語症の言語治療 実用的コミュニケーション訓練	坊岡 峰子	分担執筆	医学書院	2015年2月
小児リハビリテーション 評価マニュアル	吉川ひろみ	分担執筆 ゴール達成スケールリング (GAS) pp.123-125 カナダ作業遂行測定 (COPM) pp.126-128	診断と治療社	2015年4月
臨床精神科作業療法入門	編集 田端幸枝・谷口英治・山崎郁子	編集	文光堂	2015年6月
臨床精神科作業療法入門	田端幸枝	分担執筆: 第2章1「臨床と臨床実習」 p8-19	文光堂	2015年6月
臨床精神科作業療法入門	田端幸枝	分担執筆: 第2章3「医の原則」 p.27-54	文光堂	2015年6月
臨床精神科作業療法入門	毛束忠由・田端幸枝	分担執筆: 第4章2-4「国際機能分類にもとづく評価と支援」p.210-222	文光堂	2015年6月
臨床精神科作業療法入門	田端幸枝	分担執筆: 第5章1臨床実習の現状と課題p.290-299	文光堂	2015年6月
PT・OTのための高次脳機能障害ABC	渡辺 眞澄	分担執筆: 第2章-4「失語症」p.49-74	文光堂	2015年11月

【学会発表・講演】

注)学会発表は口演・ポスター発表を含みます。

タイトル	講演者名	会議名	開催年月日
生活習慣の工夫で認知症予防！	原田俊英	高齢者疾患の保健・医療・介護・福祉支援プログラム「平成26年度健骨・健康増進セミナー」	2015年3月
The effect of medication for children with attention deficit in social exchange using the Evaluation of Social Interaction	吉川ひろみ	第3回国際OTIPMシンポジウム	2015年3月
就労支援B型事業を利用する精神障害者の特徴とその支援	田端幸枝、大平彩菜、滝川智絵、永井愛美、森祥子	第34回日本社会精神医学会	2015年3月
パーキンソン病治療の実際	原田俊英	大塚製薬株式会社社内勉強会	2015年3月
非行児の社会交流スキルについて	永吉美香	第15回広島発達障害研究会	2015年4月
脳特性「脳のしくみとその働き及び脳の病気“認知症”の予防法」	原田俊英	広島大学産学・地域連携センター医工連携拠点推進部門「メディカルエルゴノミティシヤン人材育成研修」	2015年4月
声帯に器質的異常の見られない音声障害の診断と治療	土師知行	第200回兵庫県耳鼻咽喉科医学会 臨床懇話会	2015年4月
食べる・飲み込む機能の障害Part I～「むせる」「つまる」どうして？どうなる？～	矢守麻奈、伊賀悠真、小川芽衣、中田萌子	三原市チャンネル市民いきいき健康広場第89回	2015年4月
食べる・飲み込む機能の“生涯発達”-肺炎・窒息事故予防のために-	矢守麻奈	三原市老人大学入学式記念講演	2015年4月
Evaluation of Social Interaction (ESI)による発達障害児への治療効果の客観的評価	林優子	第56回日本小児神経学会学術集会	2015年5月
食べる・飲み込む機能の障害Part II～安全に食事をとるための工夫～	矢守麻奈、伊賀悠真、小川芽衣、中田萌子	三原市チャンネル市民いきいき健康広場第90回	2015年5月

失語症者の伝達手段としてのタブレット端末(階層構成アプリSclick)活用の効果	坊岡峰子、 永久利治、水永 沙希、加藤亜依、 野津詩織、廣富 哲也	第41回(平成27年度)日本コ ミュニケーション障害学会学 術講演会	2015年5月
失語症者のメール文に描画を添付することで得られる効果ータブレット端末の活用	永久利治、水永 沙希、加藤亜依、 坊岡峰子	第41回(平成27年度)日本コ ミュニケーション障害学会学 術講演会	2015年5月
中高年女性におけるメタボリック シンドローム関連指標がbaPWVに 及ぼす影響ー3年間の縦断調査 からー.	飯田忠行, 青井聡 美, 石崎文子, 池田 ひろみ, 近村千穂, 塩川満久, 原田俊 英	第57回日本老年医学会学術 集会	2015年6月
特異な呼吸様式を伴う機能性発 声障害の一例に対する音声治療 の経験	芦野直子, 矢守 麻奈, 牧山清	第16回日本言語聴覚学会	2015年6月
摂食嚥下機能に関する補装具お よび人工的水分・栄養補給法等 の認識と受容	伊志嶺文, 矢守 麻奈	第16回日本言語聴覚学会	2015年6月
急性期病院における摂食嚥下リ ハビリテーションと栄養管理の効 果	東山寛隆, 矢守 麻奈, 土本正治	第17回日本医療マネジメント 学会	2015年6月
ADHDに対する薬物選択とその評価	林優子	平成27年度第2回三原市小児 科医会	2015年7月
指示と粘度が嚥下行動に及ぼす 影響	山本佳穂, 矢守 麻奈, 轟知香, 堂 免志帆	第27回日本嚥下障害臨床研 究会	2015年7月
急性期病院における摂食嚥下リ ハビリテーションと栄養管理の効 果	東山寛隆, 島本 周平, 福本果南, 土本正治, 矢守 麻奈	第27回日本嚥下障害臨床研 究会	2015年7月
きこえにくい子どもたちの育ちーど う支援するかー	佐藤紀代子	平成27年度福山市教職員研 修「聴覚障害教育実践研修講 座」	2015年7月
ちょっと気になる子の理解と支援	土田玲子・林優 子・堀江真由美・ 永吉美香・山西 葉子	平成27年度県立広島大学シ ティカレッジ	2015年7月～12月
オンリーワン工作～自由に楽しく 作ろう～	高木雅之・古山 千佳子	平成27年度青少年育成カレッ ジ総合講座	2015年7月～8月
根拠に基づいた、母体ケアを含め た赤ちゃんの発達支援を実践する	島谷康司	平成27年度県立広島大学公開 講座	2015年7月～9月

思春期・青年期を考える	永吉美香	平成27年度青少年育成カレッジ総合講座	2015年7月～9月
発達障害の診断と治療の実際	林優子	平成27年度教員免許状更新講習	2015年8月
中枢神経障害の基礎知識	林優子	平成27年度教員免許状更新講習	2015年8月
発達評価の利用の仕方	堀江真由美	平成27年度教員免許状更新講習	2015年8月
学習障害への対応とコミュニケーション・スキルの指導	細川淳嗣	平成27年度教員免許状更新講習	2015年8月
子どもの行動理解とその指導	山西葉子	平成27年度教員免許状更新講習	2015年8月
姿勢・運動への支援	島谷康司	平成27年度教員免許状更新講習	2015年8月
コミュニケーションへの支援	玉井ふみ	平成27年度教員免許状更新講習	2015年8月
不適応行動に対する支援	土田玲子	平成27年度教員免許状更新講習	2015年8月
発達障害傾向を持つ児童生徒の社会的スキルについて	永吉美香	平成27年度教員免許状更新講習	2015年8月
赤ちゃんを抱っこする方法	島谷康司	平成27年度県立広島大学シティカレッジ	2015年8月
認知症について.	原田俊英	県立広島大学高大連携公開講座	2015年8月
知っておきたい！！認知症とパーキンソン病のお話.	原田俊英	広島県国民健康保険団体連合会総合健康教室事業「健幸づくり講演会」	2015年8月
中高年女性における糖代謝と認知機能との関連.	池田ひろみ, 原田俊英, 石崎文子, 青井聡美, 田村典子	日本看護研究学会第41回学術集会	2015年8月

中高年女性におけるメタボリックシンドローム評価指標に関する縦断的検討—腹囲および首周囲径との比較から—.	青井聡美, 池田ひろみ, 原田俊英, 石崎文子, 田村典子	日本看護研究学会第41回学術集会	2015年8月
動物介在活動中の高齢者との関わりが高齢者福祉施設職員へ与える影響.	浜角 葉, 松枝加純, 平岩みなみ, 山中道代, 渡辺陽子, 原田俊英, 石崎文子	日本看護研究学会第41回学術集会	2015年8月
高齢者に対する動物介在活動の心理的効果に関する研究.	松枝加純, 平岩みなみ, 浜角 葉, 山中道代, 渡辺陽子, 原田俊英, 石崎文子	日本看護研究学会第41回学術集会	2015年8月
日本における認知症と治療の現状.	原田俊英	北京師範大学中国公益研究院国際養老産業管理EMEコース	2015年8月
聞こえにくい子どもたちと人工内耳	佐藤紀代子	近畿教育オーソロジー研究協議会 夏の講演会	2015年8月
栄養サポートと摂食嚥下リハビリテーション	矢守麻奈	日本静脈経腸学会指定研修会	2015年8月
高齢者における摂食嚥下機能変化の発見と対応	矢守麻奈	三原・尾道歯科医師会・歯科衛生士会合同研修会	2015年8月
聞こえにくい子どもたちのリハビリテーション	佐藤紀代子	福岡難聴児連絡協議会 講演会	2015年9月
失語症者の統語障害メカニズムについて	渡辺眞澄	上智大学 言語聴覚研究センター 特別講演会 上智大学言語学会第30回大会 記念行事 第19回言語障害臨床学術研究会 シンポジウム「失語症者の統語障害理解ために」	2015年9月
高齢者に対する動物介在活動の効果.	平岩みなみ, 松枝加純, 浜角 葉, 渡辺陽子, 山中道代, 晋川久美, 原田俊英, 石崎文子	合同学会(第16回広島保健福祉学会学術大会, 第12回広島保健学学会学術集会)	2015年10月
認知症の予防・早期発見.	原田俊英	生協ひろしま「CO-OPプラチナスクール」	2015年10月

脳血管性認知症の原因と予防.	原田俊英	第54回ロマンの会	2015年10月
ハイレゾリユーション音源による自律神経機能への影響.	伊藤祥史, 原田俊英, 石崎文子, 二矢田勝行, 宮崎洋幸, 飯田忠行, 山本竜太	第68回日本自律神経学会総会	2015年10月
耳鼻咽喉科と嚥下障害	土師知行	豊橋医療センターNST勉強会	2015年10月
唾液分泌刺激が反復唾液嚥下に及ぼす影響	土師知行	第60回日本音声言語医学会	2015年10月
「発達障害を持つ方への窓口対応について」	細川 淳嗣	三原市役所職員研修会	2015年10月
Recognition and acceptance of oral prosthetics, artificial hydration and nutrition(AHN)	Mana Yamori, Aya Ishimine	IAGG ASIA/OCEANIA2015	2015年10月
急性期病院における経口摂取回復促進加算の現状と課題	東山寛隆, 栃本正治, 矢守麻奈	第16回広島保健福祉学会第12回広島保健学会合同学会	2015年10月
臨床経験から一聞こえにくい子どもたちとお母さんたちから一	佐藤紀代子	西日本児童発達支援センター職員研修会	2015年10月
“いい感じ”の自分と健康づくり(初級コース)	西村玲子	平成27年度青少年育成カレッジ総合講座	2015年10月～11月
地域子どもたちを育むー三原市での取り組みー	林優子	第33回日本感覚統合学会研究大会	2015年11月
発達障害の理解と支援	林優子	2015年度西日本発達支援センター職員研修会	2015年11月
発達障害の特性がある青少年の理解と支援ー発達外来がめざすものー	林優子	平成27年度青少年育成カレッジ総合講座	2015年11月
子どもの遊びを応援しよう	土田玲子	平成27年度青少年育成カレッジ総合講座	2015年11月
アルツハイマー病の病態と治療・予防.	原田俊英	第55回ロマンの会	2015年11月

パーキンソン病とパーキンソン症候群！疾病のとらえ方.	原田俊英	広島県理学療法士会 備北支部主催研修会	2015年11月
耳鼻咽喉科と嚥下障害	土師知行	北播磨ENT Meeting	2016年1月
「脳のシステムー課題とヒント」嚥下障害と認知症	土師知行	第13回脳を見るシンポジウム in 三原	2016年2月
反復唾液嚥下での嚥下間隔についてー耳内嚥下音による解析	土師知行	第39回日本嚥下医学会	2016年2月

【外部資金】

タイトル	代表研究者名	制度名	研究期間
発達障害をもつ思春期の子どもへの肥満改善のための保健指導方法の検討	鴨下加代	科学研究費補助金 (若手研究B)	H24～H27年度
失語症者のためのタブレット端末を使用したコミュニケーション支援用アプリの開発	坊岡峰子	科学研究費補助金 (挑戦的萌芽研究)	H25～27年度
マーカーレス運動画像解析を用いた極低出生体重児の障がい予後予測システムの構築	島谷康司・大塚彰	科学研究費補助金 (基盤研究C)	H25～H27年度
児童自立支援施設入所児の遂行技能プロフィールの解明と介入効果	永吉美香	科学研究費補助金 (挑戦的萌芽研究)	H25～H27年度
失語症・意味認知症者の文理解・産生の障害メカニズムー意味、文法、音韻処理の役割ー	渡辺 眞澄	科学研究費補助金 (基盤研究C)	H26～28年度
幼児期の自閉症スペクトラム児に対する感覚統合療法の効果～非ランダム化比較試験～	立山清美(大阪府立大学) 分担:山西葉子	科学研究費補助金 (基盤研究C)	H26～H28年度
耳内嚙下音および頸部光ファイバーセンサによる非侵襲嚙下解析システムの有用性の検討	土師知行	科学研究費補助金 (基盤研究C)	H26～H28年度
加齢および脳障害が語彙意味機能に及ぼす影響に関する基礎研究	津田哲也	科学研究費補助金 (若手研究B)	H26～H28年度
学校における教員と作業療法士の連携・協働モデルの開発ースクールAMPSを用いて	古山千佳子	科学研究費補助金 (基盤研究C)	H26～H28年度
実践現場に即した集団における発達障害の定量的行動評価システムを構築する	島谷康司	科学研究費補助金 (基盤研究B)	H26～H30年度
中高年女性の骨密度・骨代謝マーカーと生活習慣病関連指標との関係性に関する研究.	原田俊英	公立大学法人県立広島大学及びポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)による共同研究事業	H26～H27年度
レモンの生活習慣病予防効果に関する研究.	原田俊英	公立大学法人県立広島大学及びポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)による共同研究事業	H27年度

V. 従事者名簿

医師

小児科	林 優子
リハビリテーション科	沖 貞明
内科	安武 繁
精神科	藤巻康一郎
耳鼻咽喉科	土師知行
神経内科	原田俊英
整形外科	住居広士
脳神経外科	森 大志

看護師

看護師	土路生明美
	鴨下加代
	笠置恵子
	吉田なよ子
	青井聡美
	池田ひろみ
看護師（専任）	西本美絵子
	中川廣子

医療事務受付	塩崎恭子
	田坂春美

非常勤専門職員

心理カウンセラー	山本映子
小児理学療法士	清水ミシェルアイズマン
心理士	錦織翼
	後藤貴行
臨床検査技師	児玉祐子
作業療法士	新庄玉恵

コメディカル

理学療法士	金井秀作
	島谷康司
	長谷川正哉
	梅井凡子
	武本秀徳
	積山和加子
	高宮尚美
	金指美帆
作業療法士	田端幸枝
	土田玲子
	西田征治
	吉川ひろみ
	古山千佳子
	小池好久
	高木雅之
	西村玲子
言語聴覚士	永吉美香
	山西葉子
	堀江真由美
	坊岡峰子
	細川淳嗣
	吐師道子
	玉井ふみ
	小澤由嗣
	長谷川純
	城本 修
	矢守麻奈
	佐藤紀代子
	渡辺眞澄
津田哲也	
中村 文	
放射線技師	中村 悟
	飯田 忠行
社会福祉士	永野なおみ